

刊夕日六十月三



定価一紙金五円... 発行所 常磐新報社 電話 六三〇

### ハルビン事變籠城記 (八)

ハルビン日本小學校長 白髮隆孫氏寄

◎少年通譯松永君  
東北の戦雲急を告げハルビン四千の同胞の生命愈々危機に瀕せんとしたとき、敢然これを救ひ出さんと關東軍司令官は一月二十八日多門第〇師團の精銳を大擧北征の途に就かしたため、敵は到るところ鐵道、鐵橋を破壊、燒棄し、堅陣を構へて頑強に抵抗し極力吾軍の北上を阻止した、これが爲め北上軍と相呼應してチハル駐屯部隊鈴木〇〇旅團に救援の命下り、ハルビンへ出動せんとしたとき、端なくも年齒わずかに十五才の日本少年にからまる涙ぐましい美談が現はれた

少年を見るや、いたく同情し不審を抱いて手元に彼を招いて  
「お前の名は……」  
「ハイ、松永春雄と……」  
「お前の年は……」  
「ハイ、今年十五才です」  
「お前の家は……」  
「ハイ、ハルビンです、家には一人の母が居ります」  
「お前の學校は……」  
「ハイ、ハルビン日本小學校高等科二年生です」  
と懇に種々たづねたが松永君はハキ／＼した態度で頗る活潑、明瞭に一々答へた。  
大隊長は更に問を進めて  
「お前は語學(支那語)には自信があるか？」  
「ハイ支那語は日常のことなら何不自由なく支那人と通話が出来ます、ロシア語も大抵のことは解ります」  
「お前は語學はどこで稽古したのか……」  
「ハイ、學校で……」  
とハツキと自信ある旨を言下に答へた。大隊長は更に彼が決心をたづねんと「通譯として愈々出征し軍隊と行動を共にし敵地へ侵入する上は如何なる難儀にあふかも計られぬ、又何時

敵襲にあつて敵陣に斃れるかも知れぬ……それでも恐くはないか？」  
この時松永少年の愛くるしい瞳は大隊長の顔へ注ぎ聲凜然として、  
「それ等は勿論覺悟の上です、學國一致奮ひ立つべき秋です。何も未練はありません、私が従軍の許を頂きましたら一人のお母さん、キツト喜んで下さること、心ひます。この小さい體でもお國のためになるなら何時でも差上げませう」  
と少しもどよみなく明瞭に答へ、その決心が眉宇に現はれ如何にも態度が立派であつたので、多賀見大隊長を初め居並ぶ將士もこの氣なげな松永少年の言語と態度に感激せぬものはなかつた。  
大隊長は  
「好しッ、お前は偉い、直ぐ採用する、俺の通譯だぞ他人は渡さぬぞッ」  
斯くて松永少年は即時に大隊長附通譯と決められ右腕に輝く銀の星章を付け、大隊長の膝下にあつて寢食を共にし、奉公の誠を捧げてゐる。

藤沼醫院  
平町紺屋町  
電話七〇五番

### ◎火事は油断から……

時局重大の秋です、絶対火事を起さぬセロン劑を塗る事に致しませう

セロン防火劑東北發賣元

東北セロン商會

平町白銀町(電三九三)

### ◎お茶の値下斷行

本場銘茶の優良品を一段と品質を向上致しまして英斷的値下致しました、何卒御試飲下さいませ

煎茶四十目袋入 十錢より五十錢まで

香りのよい家庭徳用別焙

ほうじ茶四十目袋入 十五錢 第二號十錢



外科 X 光線科  
性病科  
外科科  
意隨院入

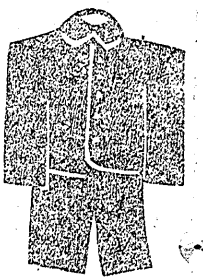
平町田町

安齊外科醫院

電話四七五番

### 通學服賣出

。たしまりいまして近づき期學新  
いしら愛可のマオチ嬢、マヤチ坊  
。たしまへ攝取々色を服學通  
用兒男◇  
¥58.0……服倉小  
¥07.1……製製特同  
¥04.3……ジ一サ紺  
用兒女◇  
¥06.2…服一ラセルセ紺  
¥01.1…服一ラセルセ綿  
てへ攝取々種トマ水防  
すまひ座御  
三平店服洋やかふ  
302電



小兒ノかんむしニあかひき丸堀藥局  
平町二丁目  
電話三二六

### 醫學博士名推獎

胃腸病・婦人病 其他の慢性諸症  
肥り度い人の福音 熱くなく痕つ  
かす無煙式 誰にも出来る理想的  
家庭治療器

特許特賣 約代理 販賣部  
福島縣平町五ノ廿八 志賀齒科醫院  
福島縣平町白銀町九 産婆關口悦子

器灸温ムウチラ  
表價定 賣販約特 部理代許特賣專  
金拾參圓 藥及特効五週間分付  
金拾圓 藥上製桐箱入一揃  
(說明書呈)

セメント  
壁用材料  
コールタール  
ペンキ塗料  
板ガラス  
磐城セメント株式會社  
代理店 西村屋藥舖  
平町二丁目電三一

# 滿洲へ 移住は 未だ早い

### 事變で失業せる者の 後始末が未だつかぬ

滿洲事變も一段落を告げ滿洲新國家の成立した處から滿蒙地方の産業が活潑な活動を開始せるものと思込み渡満せんとする者の多い折柄本日平職業紹介所へ到着した大連職業紹介所の通牒に依ると幾分時局は安定し各種事業も勃興する見込は

## 警中 警女 共に 入學志願増加

### 昨日締切る

警城中學校及び警城高等女學校にては本年度入學志願者の願書受付を昨日限り締切つたが左記の如くで何れも昨年よりは増加して居る

警中 三六〇名三八二名  
警女 三四九名三七三名

## 藥品

### 價格協定

石城郡藥業會では廿日午後一時より四丁目丸トモホール樓上に總會を開催會員の藥品濫賣防止に價格協定其他に就いて協議を行ふ

## 料率引下 至難

### 火保折衝

平町火災保險料率引下げ問題に關し委員地元三縣議酒井助役は火保協會仙臺支所において現在の百分の十四を百分の九以下に引下げ交渉をなしたが同協會では最近動産保險加入者増加し家屋に對する一般町民の無關心なるを楯にとり尙最近二回の火災において何れも火災保險が附してある事實に

類作製の上改めて折衝することになつた

### 新入生の...

机と椅子新調

平町役場では今春市内三小學校に入學する五百餘の入學児童が使用する机、椅子等の一部を新調する事になつたので十八日午後一時より會議室に各家具製造業者を招集して價格の見積書を提出せしめる筈

## 水道擴張工事の 完成は五月頃

### 高架水槽工事が 約一ヶ月遅れて

平町水道擴張工事は三月中旬に工事終了の豫定であつたところ高架水槽等の工事が約一ヶ月遅れ竣工期にはほ

## 蕪高値豫想の 掃立増を嚴戒

石城郡養蠶組合員中には春蠶掃立期を控えて今蕪の高値を豫想し掃立数を増加せしめる向が多いが組合としては飽迄養蠶家の自給自足の範圍内に行はしめる方針

## 飛行機献納に 生徒等一錢宛

平第一、第二、第三各小學校にては此度全國兒童軍用飛行機献納金の件に付昨日午後一時より平第一小學校に校長會議を開いた結果其趣旨に賛し生徒一人一錢宛寄附する事に決定した

## 平商の 編入試験

廿四日執行  
平商業學校第二學年編入試験志望者は目下の處五名であるが此れが編入試験は来る廿四日午前九時より同校講堂に於て執行すると

## 平町人事

△紺屋町六三日野龜吉氏長女嘉子  
△四丁目十四當時東京府下荏原郡蒲田町字御園加藤三郎氏三女昌子  
△北目町卅一當時仙臺市靈屋下四二加藤豊太郎氏三女光江

安イハ  
靈造花博  
臺其他盛博  
夫人葬具式堂  
ノ一安イハ

印刷御用命は總て  
常警毎日印刷株式會社  
電話六三〇番

## 募一二勇士遺族の 弔慰金

嗚呼忠勇無比の三勇士何ぞ其の壯烈なりしぞ鬼神も爲めに慟哭せむ、實に振古未有驚天動地の偉業にして人生を超越し洋の東西に冠絶す、古今英雄多しと雖も蓋し三勇士に如くものなからん宜なる哉其の心情英雄以上の英雄なり、今や同胞國を擧げて戦に赴かんとする誰か彼の三勇士に感激せざるものあらむ殊に目下外交は危機に瀕し東亞の風雲彌々急ならむとする秋、内は國民の士氣を鼓舞し外は國家の威武を宣揚する誠三勇士に負ふ處甚だ大なるを痛感するなり、名將曰く「吾が皇國も三勇士ありて亡びず」と真に至言にして正に彼を弔ふ最大最高の弔辭なり、然らば彼等三勇士こそ日本軍人の範にして大和民族發展の尊き犠牲者なり、吾人は彼等殉國の忠誠を永遠に紀念し併せて千古不磨の英靈を弔はん爲め彼の三勇士遺族へ薄志を饒け以て聊か勇士の靈を慰んとす、愛國の士奮つて賛せられんことを

## 主唱 阿部政右衛門 後援 常警毎日新聞社

一 弔慰金一人金拾錢均一に願ひます  
二 右弔慰金は半驛前丸ッ阿部石炭店又は常警毎日新聞社に御届を乞ふ  
三 寄附者芳名を常警毎日新聞紙上に掲載領收書に代ふ

## 寄附者芳名 第十回分

四丁目 百澤 ユウ	同 新川町 伊藤 彌兵衛
同 同 正	同 小池 三左衛門
同 新妻 信子	同 鈴木 公平
同 猪狩 庄平	同 松本 貞子
同 山野邊 茂重	同 同 敬子
同 柴田 内面一	同 同 敬子
同 外面二	同 同 敬子
同 鈴木 興一	同 小島 一郎
同 ハバート	同 安部 六三郎
同 片寄 敬太郎	同 同 トメシ
同 同 清次郎	同 同 雄
同 同 泉屋	同 氏家 勇次郎

# 平青年團が 滿洲座談會

## 廿日午後七時から 月次修養の催し

平青年團の月次修養部にては毎月講演其他適切なる方に依り團員の

智徳練磨に努め相當に効果を擧げて居るが本月は滿洲問題を中心とし是れが實態を極めんが爲め來る廿日午後七時からマルトモ樓上に滿洲座談會を開催する事となつたが特に左記の諸氏に臨席を乞ひ互ひに種々の

質問應答を爲して意見を交換する由である(教育者側から)吉田利吉(會我直治(在郷軍人側から)山崎清三、藤田榮助(顧問側から)大森勇、川崎文治(宗教家側から)柏原英純、中村月城

## 公園設備 土木委員會

平町役場では十八日午前十時より會議室に於いて土木委員會を開催し今春櫻花時の公園内諸設備に就いて協議をなす

## 高野四郎 懲役五年

本日言渡し  
平町鍛冶町高野四郎(三七)の

陪席判事係、本檢事立會大嶺、安藤兩辯護士列席の上開廷裁判長より懲役五年を言渡された

## 球算の 競技會

平第一小學校に於ける第十回球算競技大會は來る十八日午後一時より開かれるが出場者は尋常科第五學年以上各級四名宛にて聴取算及視取算に就て行ふと

## 櫻花の宣傳に 珍趣向

### 大童への平役場 ホスターを配布

東北地方に名だたる平町松ヶ岡公園の櫻花は諸般の設備並に各様の宣傳と相俟つて逐年遠方に紹介されその美觀と賑はひに一人名所として數へらるゝに至り四月十五日頃を中心として難路振りは蓋し名状し難いものがあるが今年には更に産業博も開催されるので之を好機として町役場では珍趣向のポスターを作り縣下の各驛は勿論常磐線一帶並に近縣

## 表彰

### 赤十字寄附

平町諸橋久太郎氏は八百圓磐崎村高木源八は三百圓を夫々赤十字社福島支部の事業費として寄附した爲め此程知事より表彰された

## 窃盜を働か

### 平署へ照會

石城郡飯野村字下荒川生窃盜前科四犯阿部初太郎(三九)は去月下旬頃より茨城縣土浦市岡町等にて窃盜十數件を働か昨十五日石岡署に檢舉されたるにて本日平署に身元照會があつた

## 剣道稽古終了

石城郡赤井村實業補習學校では冬期間を利用して剣道を指導して居たが本日を以つて指導期間が終了したので今夕午後六時より終了式を舉行終つて生徒間の紅白試合を行ふと

## 失戀か?

### 十九娘の鐵道自殺 公園下に屍體轉る

今朝六時頃松ヶ岡公園第三公園下の常磐線上り線路内に一見女中風ニコノ縋りの袴を着た十八九才の女が胴体及び

### 明日の天気

今夜も明日も北西の風晴れたり曇ったり雨模様

## 原因は

其後平署に關係人を呼出し取調べた結果クラは昭和五年頃から平町の親戚を頼つて前記裁縫所の内弟子となつたものであるが昨年八月頃より同町内の某商店主と關係に陥つて居たが最近其を同店主の妻に發覺され兎角評判となつて居たので情人は遂に避けて居た爲めクラは情人の變心と誤解して思ひ惱んで居た處昨十五日は裁縫所が公休なのでクラは同僚と終日カルタに興じた後情人を電話に呼出さんとしたが情人が呼出ないのを悲感し變心せるものと思ひ込み急に世を敢果なんぞ自殺の覺悟をしたものであると

## 原因は

又も自轉車泥 茨城縣久慈郡下河村生れ窃盜前科一犯關養進(三三)は十四日

### 明日の部

隊有志 後八、四〇 所感「出征勇士を驛頭に送りて」家谷計男 後九、〇〇 浪花節「噫肉三勇士」宮川松安 後九、四〇 全國ニュース 氣象通報 番組豫告

## 明日の部

午後七時頃久保町山田某方に立掛であつた自轉車一台を窃取して平署に檢舉され

## 丸焼けの裸一貫

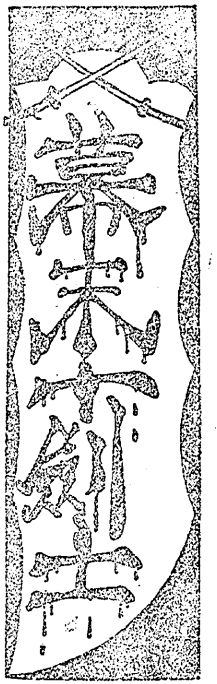
### 窮狀見るに忍びず 役場が救濟

既報 十四日午前二時半播穂小路室井徳治方より發火した火災に見舞れ全焼した隣家の鑄かけ展梶山丑松方では火の移りが速やかかつた爲め家財道具は何一つ運び出せず目下其日の生活にも窮する處から町役場では生活を救濟する爲め生活費の一部を給する事になつたと

## 一冊の代金

### 御希望通りな 五冊の雑誌が 自由に讀める 川崎回文庫

△紙箱製造工 廿一才 高卒 給料面談(東京市某)  
△小使 五十才 高卒 給料面談(平町某)  
△商店雜役 廿八才 高卒 給料面談(石川郡某)  
△事務員 廿六才 平商卒 給料面談(平町某)



禁載上演及映畫  
悟道軒 圓玉演  
近藤 紫雲畫

【第三席】  
神影流の達人秋山要介(3)

喧嘩の仲裁

秋山要介は井上、福松山、崎倉次郎の二人に伴られて川越の城下の料理店花屋に上つた今日は祭禮の當日として大分客もある往來に面した二階座敷に陣取り女中の酌で酒を飲んで居たが井上福松は盃を要介に献し

福「先生、貴下は今三吉野明神に御参詣なさる時に妙な事を願ひましたな」  
要「どんな事を申しした」  
福「武運長久、危き場所に立寄らせ給へと祈願なされたが、之は私には解りません、イエ武運長久だけは解つて居りますが、危き場所に立寄らせ給へとはどういふ事でございますか」

要「そんな事は俺に問ふものは無い、危き場所に立寄せ給へとは刀の降るやうな所へ引付けて呉れと申す事だ」  
福「へー、なんでそんな願をおかけになります」  
要「俺は武士だ、武士の職業は戦だ、ところが泰平に二百有餘年、戦は繪に描いた物より見る事は無からう、さすれば武士の職業が暇だ」



福「成程そこで危き場所に遭遇ふ様に守護して下さる様にと祈願したした、危き場所に入らさず立身いたす事もならぬ、幸ひは總て危き所に任んでゐる、そこで其事を取るには危き所へ立入らさばなるまい」

上福松が  
福「コレ女、大分表が騒がしいが何だ」  
福「何だ喧嘩だと、先生お聞きになりましたか、博徒の喧嘩でございます」  
要「それは不埒な奴だ、その博徒は何と申す」  
女「所澤の彌五郎さんに小仙波の友吉さんが乾分衆を伴れて押出して來ました」  
要「不届至極、俺が二人を引分けてくれる、コレ井上山崎、神の利益は廣大なるものだ、もう危き場所に立寄る事が出来る、續け」と云ひすて二階を駆け降り

とそれへ進み寄り  
要「暫く待て、俺は秋山要介である、コレ待てと申すに何らぬか、今日は三吉野神社の祭禮にて莊嚴なる儀式を執行ふ、その清浄なる此日は血を流すは神への畏れ、且は市中の者も迷惑いたす、兩人共引け、但し肯入ぬとあらば拙者が相手をしてくれる引け／＼」  
と云はれて秋山要介の偉い事は知つてゐる、此先生を敵として喧嘩をするは不利益、怪我でもすれば御領主の御家來に手逆ひしたといふ罪で此土地に居ることは出来ない、扱ひ人は時の氏神、茲に秋山に任じた方が宜からうと、憐れ思ひ小仙波の友吉がそれへ出て來たが

友「これは秋山先生でございますか、お扱ひ下さるとは誠に有難い事でございます、私も好んで血を流す考へはございませぬ、據らぬい事情がございましてこんな事にもなりまして」  
要「然うか定めし仔細あら事とは存するが、それはどういふ譯か」  
友「私の親父は今年に七十それゆへ表を引きました、隠居いたしました、處で私が親父の代參として伊勢の大御宮様にお詣りに行つた其不在中に所澤の彌五郎が私共の縄張へ手を入れて荒し廻ります、戻つて親父から此事を聞き血を流してこしらへた縄張りを彌五郎に擧げられてそれを黙つて見てゐるは男が廢ります、それ

福「成程大きな理窟でございます」  
要「武士の刀に血を塗ることはならねば、これは無用の長物、どうだ俺の云つた事が解つたか」  
話してゐるとワツといふ人聲、續いて聞える消魂しき足音、それと耳にした井

りて往來へ出ると、祭禮の共日とて町は大層人が出てゐたが、喧嘩と聞いて左右に逃げる家々では戸を締るそこへ所澤の彌五郎に小仙波の友吉が乾分を四五十人率ひて押寄せ、脇差の鞘を拂ひ、今茲に血の雨を降らすばかり、

で若い者を伴れて彌五郎の許に押寄せようとした事が先方に知れたと見えてこれ人も人敷を伴れて出張り此處で出會ひましたから……」  
要「よし解つた、博徒の分際として我持場であるの繩張であるのと申すは間違ひ居るとは云へ多年苦心いたしてそれだけの土地を手に入れた彌五郎に取られては一分も立つまい、イヤ貴様の立腹いたすも無理ではない、コレ彌五郎、貴様が宜しくないぞ……」

大塚の  
學生靴!!!  
耐久新製品  
編上靴 六〇〇  
半靴 五〇〇  
不安心なるキカイ靴より、安心得る弊店の靴を……  
大塚支店製靴部  
電話七七番

看護婦急派  
の求めに應  
じます  
平町南町  
平看護婦會  
電話三〇七番

旭硝子株式會社製品  
板ガラス  
硝子食器  
菓子壺  
其他各種  
松崎硝子製作所  
平町新川町(電話一四二番)  
仙臺市榮町 電話五九七番

全國知名新聞 朝日、東京日々、大阪毎日、富士、雑誌 推獎 講談俱樂部、主婦之友廣告乞御參照  
右は岩里家古來よりの家傳秘法薬にして男女血らし慢性淋病、こしけ、濁濁の病みは不思議に止り連服するも絶對胃腸傷害なき各業であります。  
尙ほ此の薬は責任速効薬で二日内服して効なき時は殘薬引換に全部異議なく返金します。  
論より證據服薬した人は皆全快喜んで居ります。慢性、悪性の人は七日以上服差して下さい。  
美本淋病治療書無代進呈、此の新開各記入申込者に付前金申込者には送料無料、新品送薬す。  
代金引換廿三錢手数料金納の事。  
薬價 急性用(黒箱) 一週分 參圓  
慢性用(赤箱) 一週分 五圓  
特約一  
手販賣 阿康藥舖  
縣社ノ下(電話四四番)

高久病院  
院長 醫學士 高久 忠  
副院長 新潟醫學士 赤羽 清  
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄  
内科小兒科 外科花柳病科  
耳鼻咽喉科 トゲン科  
平町田町 電話五一三番